



自己注射の解説冊子

Rhythm®
PHARMACEUTICALS



イムシブリー®皮下注10mgで
治療をする患者さんとそのご家族の方へ

自己注射 ガイドブック

監修

名古屋市立大学大学院 医学研究科
消化器・代謝内科学 准教授

田中 智洋 先生

目次

はじめに	3
治療開始前に知っておきたいこと	4
治療開始時に受け取るもの	5
薬・注射器の保管と管理	6
道具の準備	8
注射する量について	9
薬液の準備	10
注射の方法	12
注射後の片付け・廃棄の方法	26
注射後の記録	27
イムシブリーの注射についてのQ&A	28
サポートツール	32

はじめに

イムシブリー®皮下注10mgは、ご自宅で1日1回皮下注射をするお薬です。

この冊子は、これからイムシブリーの注射を始める方が、注射の方法を確認しながら無理なく続けていただけるよう作成したものです。

患者さんご本人や、ご家族などの日常の注射をサポートする方が、医師や看護師などの医療スタッフから十分な説明とトレーニングを受けたうえで使用を始めることが大切です。

注射の方法についてわからないことや、不安に感じることなどがありましたら、医師や医療スタッフにご相談ください。



治療開始前に知っておきたいこと

- 1日1回、皮下注射します。
- ご自宅などで、患者さんご自身またはご家族の方が注射できます。
- 必ず医療スタッフから説明を受け、トレーニングをしてから、実際にご自身に注射してください。
- ご家族の方が患者さんに注射する場合も、説明とトレーニングを受ける必要があります。
- 注射は1日の中でいつでも可能ですが、朝に注射することをおすすめします。
- 食事の有無にかかわらず注射できます。



少しでも体調や気分がよくないと感じたら、
医療機関を受診してください。

自己注射の方法は、こちらから動画でも
ご確認いただけます。ご参照ください。



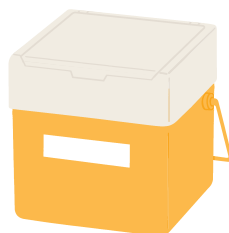
治療開始時に受け取るもの



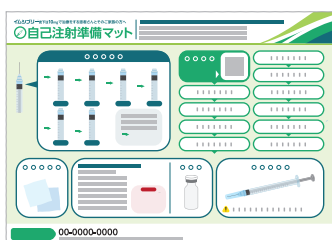
バイアル



注射器*1



廃棄容器



自己注射準備マット



消毒綿



保冷バッグ・保冷剤

不足している物品があれば、医師や医療スタッフに連絡してください。

また、2回目以降に薬を受け取りに行くときには、保冷バッグ・凍らせた保冷剤をご持参ください。



絆創膏*2が必要な場合はご自身で用意してください。

*1 少量の薬液を正確に注射するため、針付き注射器の使用を推奨しています。

*2 注射後に消毒綿で注射位置をしばらく押さえても出血が続く場合は、絆創膏を貼り、その上から5分間程度しっかり圧迫してください。

薬・注射器の保管と管理

自宅保管の注意点

- 小さなお子さまの手の届かないところで保管してください。
- 未使用の注射器や、使用済みの注射器が入った廃棄容器も、安全なところで保管してください。
- 廃棄容器は危険物のため、医療機関または薬局で処分します。いっぱいになったら、医療機関または薬局にお持ちください。
- 使用できない未開封のバイアルは、医療機関または薬局にご返却ください。
- 使用済みのバイアルは、医療機関または薬局へ持参するなど、廃棄方法は医療スタッフにご確認ください。



注射器・薬の取り扱い

- 毎回新しい注射器を使用してください。
- 使用後の注射器は、適切な廃棄容器に捨ててください。
家庭ごみでは捨てないでください。
- イムシブリーや注射器はほかの人と共有しないでください。
処方された本人のみ使用してください。
- 一度皮膚を刺した注射器は、決してもう一度バイアルに刺してはいけません。



薬を自宅で保管するとき

【未開封の場合】

- 箱に入れたまま、冷蔵庫(2～8℃)で保管してください。
使用期限は、バイアルや箱に記載されています。
- 室温(30℃以下)で保管することも可能ですが、品質管理上、
冷蔵庫(2～8℃)での保管が推奨されています。
室温で保管した場合の使用期限は、バイアルや箱に記載されている
使用期限または30日以内のどちらか早い方です。

【薬を開封した場合】

- 箱に入れたまま、冷蔵庫(2～8℃)で保管してください。
室温(30℃以下)で保管することも可能ですが、品質管理上、
冷蔵庫(2～8℃)での保管が推奨されています。
- 使用開始後は、使用期限を越えない範囲で28日以内に使用してください。28日を過ぎた場合は、薬が残っていても廃棄してください。
医療機関または薬局へ持参するなど、廃棄方法は医療スタッフにご確認ください。
(開封した日付を、箱にご記入ください。)



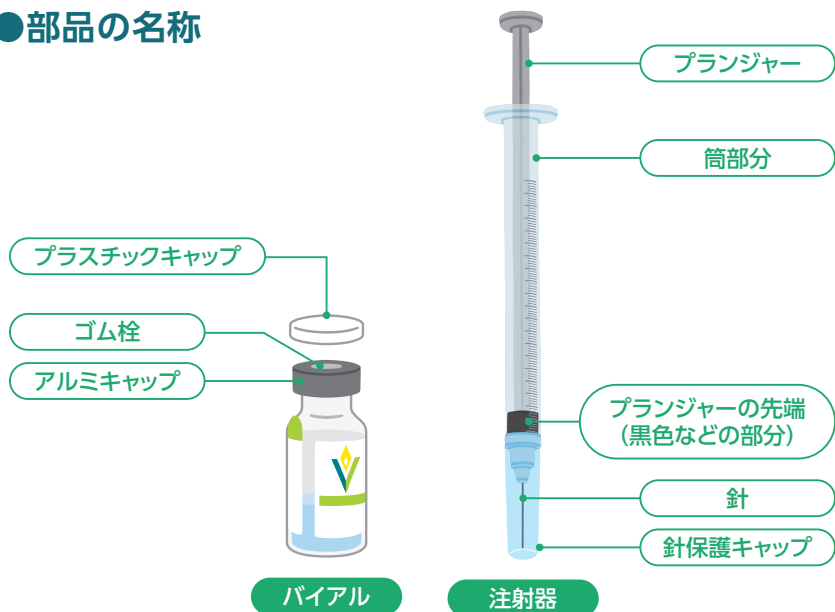
道具の準備

必要なもの

自己注射をする前に、平らな机の上に自己注射準備マットを敷き、必要な物品をその上に置いて準備をしましょう。



●部品の名称



注射する量について

注射する量

- バイアル1本あたり、1mLの薬液が入っており、この中に10mg分の薬の成分が溶けています。
- 患者さんの状況に応じて医師が適切な量を決定します。
- 基本的には、0.05mL (0.5mg) から開始し、少しずつ増量します。
- 注射器のどの目盛りのところまで薬液を吸って注射するのかは、必ず医師の確認を受けてください。
- 増量はずっと続けるわけではありません。表のように、患者さんの年齢や体重に合わせて最大注射量が決まっています。
- 腎臓の状態や患者さんの状態に応じて、薬の量を減らすことがあります。その場合は、医師から量の説明があります。
- 注射する量はご自身の判断で変更せず、医師の指示に従ってください。

【年齢・体重ごとの最大注射量】

年齢	体重	1日の最大注射量
4歳以上6歳未満	20kg未満	0.15mL (1.5mg)
	20kg～25kg未満	0.2mL (2.0mg)
	25kg～30kg未満	0.25mL (2.5mg)
	30kg以上	0.3mL (3.0mg)
6歳以上		0.3mL (3.0mg)

注射を忘れた場合

- 一度に2回分を注射するなど、注射する量は増やさないでください。
- 予定されている次回の量で、1日1回で再開してください。

薬液の準備

1 バイアルが使用できるか確認します。



【使用可能】

- 液体は透明かわずかに乳白色
- 液体は無色か微黄色
- 液体に異物がない



【使用不可】

- 使用期限を過ぎている
- 液体が濁っている
- 液体が変色している
- 液体に異物などが浮いている
- 凍ってしまった場合や30℃を超える場所で保管した場合
- 新しいバイアルのプラスチックキャップもしくはアルミキャップが壊れている、または外れている



このような場合は使用せず、新しいバイアルを用意してください。
使用不可のバイアルは、医療機関
または薬局へご返却ください。

2 手を石鹸で洗います。

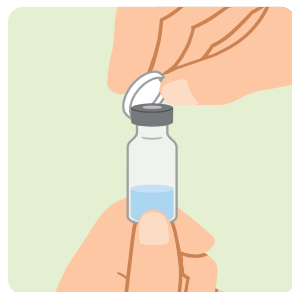
- 3** 注射の約15分前に、使用するバイアルを冷蔵庫から出し、室温に戻しておいてください。
または、手のひらで約60秒間静かに転がして温めることもできます。(常温に戻してから注射することで、痛みを感じにくくなります)



- ほかの方法で加温しないでください。
- 薬液が泡立ちやすいため、決して振らないでください。
泡立ってしまった場合も使用可能ですが、薬液を注射器に吸うときに正確な量を吸うことが難しくなるため、できるだけ泡立てないように注意してください。

- 4** 新しいバイアルの場合は、プラスチックキャップを外します。

- ▶ この時点で、バイアルにはアルミキャップだけが残っている状態になります。
- ▶ プラスチックキャップは、家庭ごみで捨ててください。



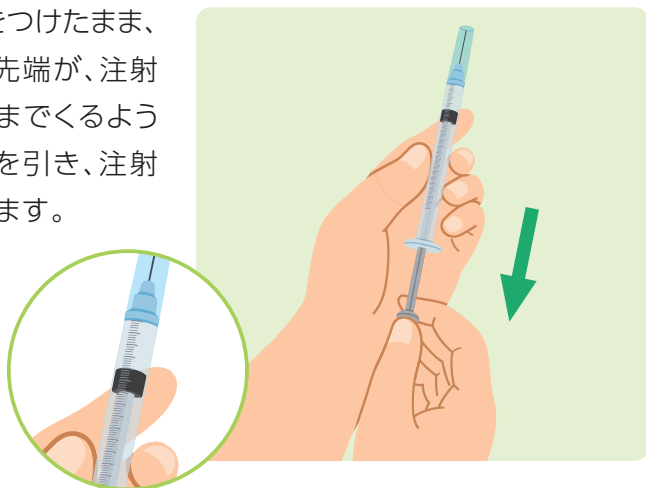
- 5** 1枚目の消毒綿でゴム栓を拭きます。
消毒綿は家庭ごみで捨ててください。



注射の方法

ステップ 1 注射器に注射する薬液と同じ量の空気を入れる

- 1** 針保護キャップをつけたまま、プランジャーの先端が、注射する量の目盛りまでくるようにプランジャーを引き、注射器に空気を入れます。

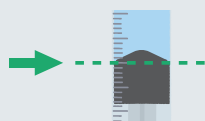
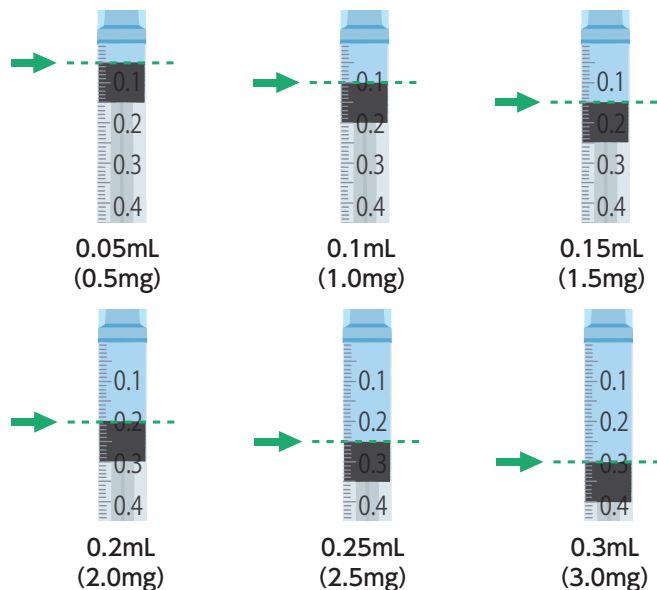


2 目盛りは、プランジャーの針側の先端の高さで読み取ります。

注射器の目盛りの見方

多くの注射器では、目盛りは0.01mLごと*についていて、数字は0.1mLごとに記載されています。

目盛りは、プランジャーの針側の先端から読み取ります。



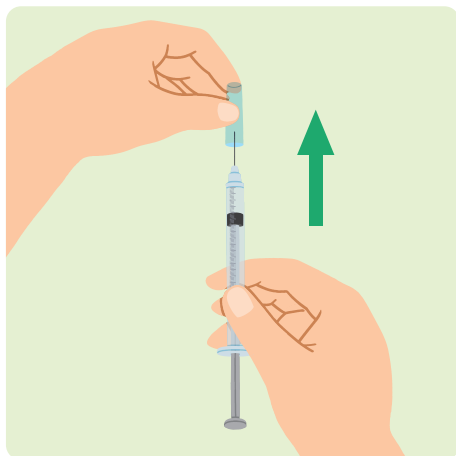
プランジャーの先端が山型に見える場合は、プランジャーの先端のすそ野にあたる箇所が目盛りを読みます。

*使用する注射器の種類によって異なる場合があります。
ご不明な点がある場合は医療スタッフにご相談ください。

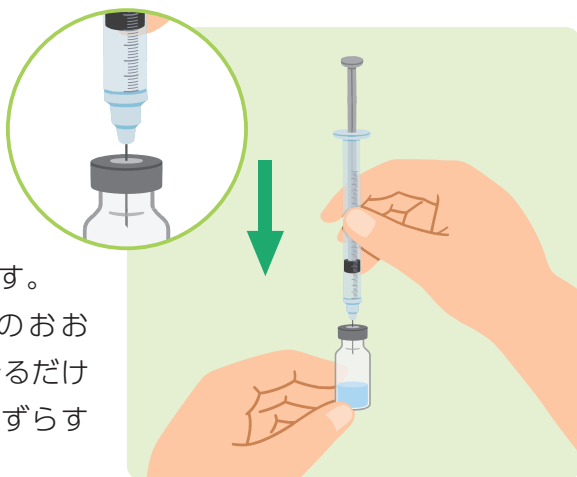
注射の方法

ステップ 2 注射器内の空気をバイアルに入れる

- 1 注射器から針保護キャップを
まっすぐ外します。



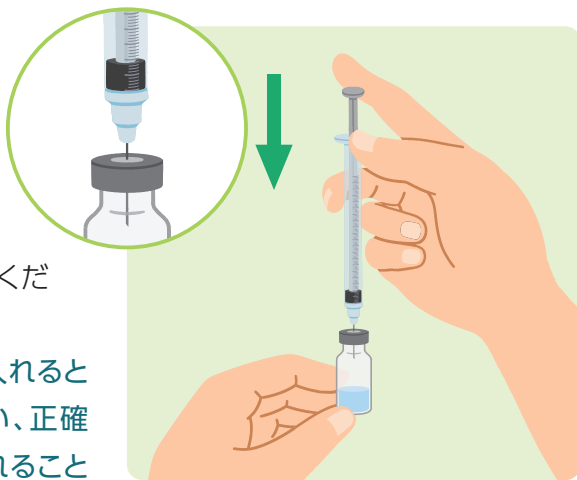
- 2 バイアルを準備マット
に置いた状態で、注
射器をバイアルの
真上に垂直に立て、
針をバイアルのゴム栓
にまっすぐ刺し込みます。
刺す場所は、ゴム栓のおお
むね中央付近で、できるだけ
毎回少しずつ位置をずらす
ようにしましょう。



3 プランジャーを押し、
注射器の中の空気を
バイアルに注入
します。

このとき、針先が薬液
につかないようにしてくだ
さい。

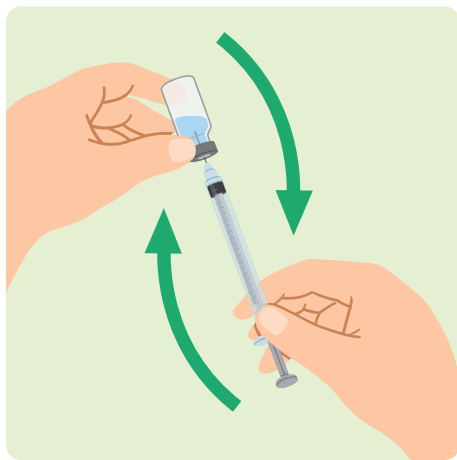
▶ 空気を薬液の中に入ると
薬が泡立ってしまい、正確
な量を注射器に入れること
ができなくなるため、注意
してください。



注射の方法

ステップ 3 薬液を注射器に吸う

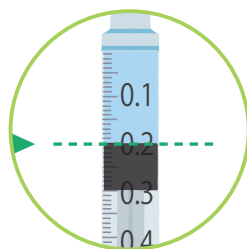
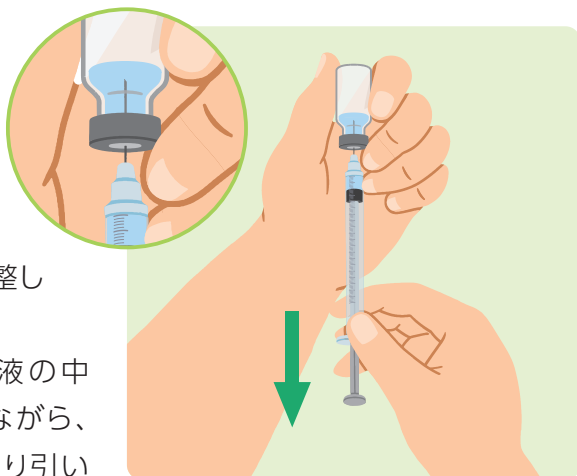
- 1 利き手で注射器を、反対側の手でバイアルをしっかり持ち、針をバイアルに刺したまま、全体をゆっくり逆さにします。



- 2** 針の先端が薬液の中にくるように、注射器とバイアルの距離を微調整することでバイアルに刺さっている針の深さを調整します。

次に、針の先端が薬液の中にあることを確認しながら、プランジャーをゆっくり引いて、注射する量の薬液を注射器に吸います。

- ▶このとき、注射器の針がバイアルのゴム栓から抜けてしまったり、プランジャーを引きすぎて注射器から引き抜いてしまったりしないよう注意してください。



目盛りの見方の例



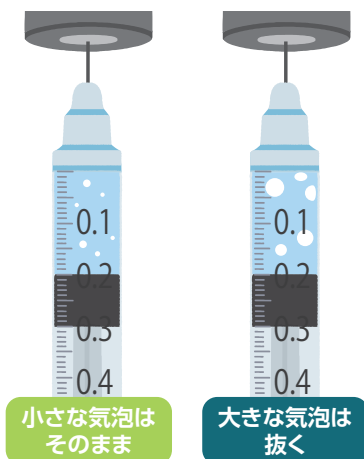
- バイアルには数回分の薬液が入っているので、多くの場合、バイアル内の薬液のすべてを注射器に吸う必要はありません。
- 注射器には注射する量の薬液のみを吸ってください。
- 薬液が残っている場合は、翌日の注射に備えてバイアルを箱に戻し、冷蔵庫で保管してください。

注射の方法

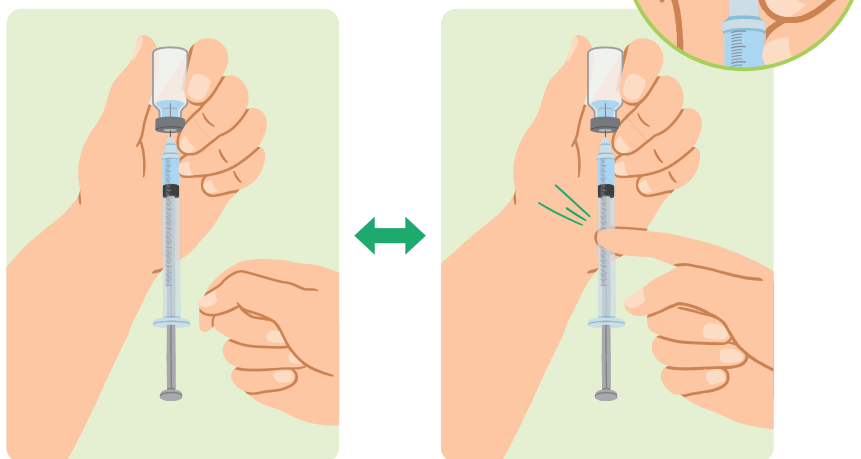
ステップ 4 注射器の気泡を抜く

- 1** 針をバイアルに刺したまま、注射器の中に大きな気泡がないか確認します。

大きな気泡があると、その分、注射する薬の量が減ってしまうため、取り除く必要があります。

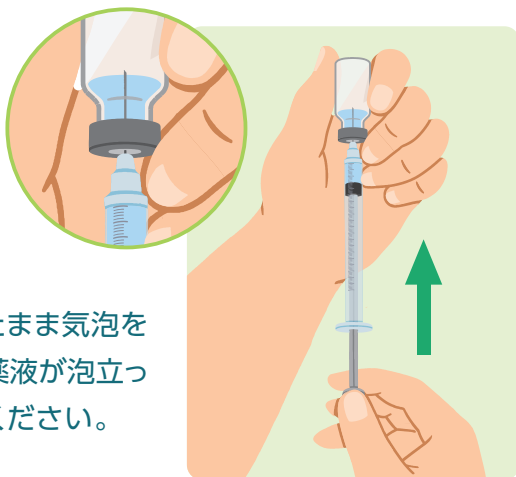


- 2** 注射器の側面を指で軽くたたいたり、はじいたりして、気泡を注射器内の薬液の上方に移動させます。



- 3** 注射器とバイアルの距離を調整して、針の先端が薬液の水面より上に出た状態にし、プランジャーをゆっくり押して大きな気泡をバイアル内に戻します。

▶ 針の先端を薬液に入れたまま気泡をバイアルの中に戻すと、薬液が泡立ってしまうため、注意してください。



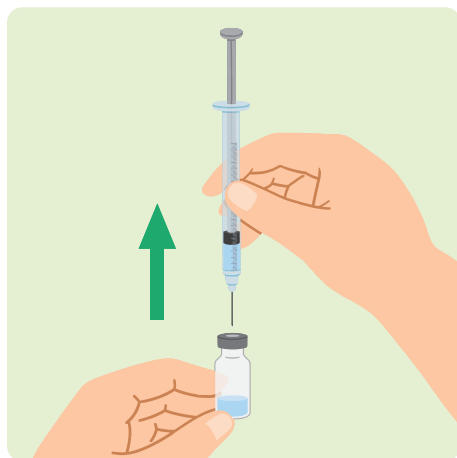
- 4** 大きな気泡を取り除いた後、針の先端を再び薬液の中に戻し、**ステップ3-2**と同様に、プランジャーをゆっくりと引いて、注射する量の薬液を正確に注射器に吸います。

注射の方法

ステップ 5 バイアルから針を抜く

1 注射器とバイアルをそれぞれの手でしっかり持ったまま、もう一度全体の上下を逆さにして、バイアルを立てた状態に戻し、準備マットの上に置きます。

2 利き手で注射器、反対側の手でバイアルをしっかり持ったまま、注射器を持つ手を上に持ち上げて針をまっすぐ引き抜きます。



3 注射器を準備マットの上に置きます。

この時、針が準備マットの表面に触れないように注意してください。



針に針保護キャップは付け直さないでください。

付け直すときに、針で指を刺してしまうリスクがあります。

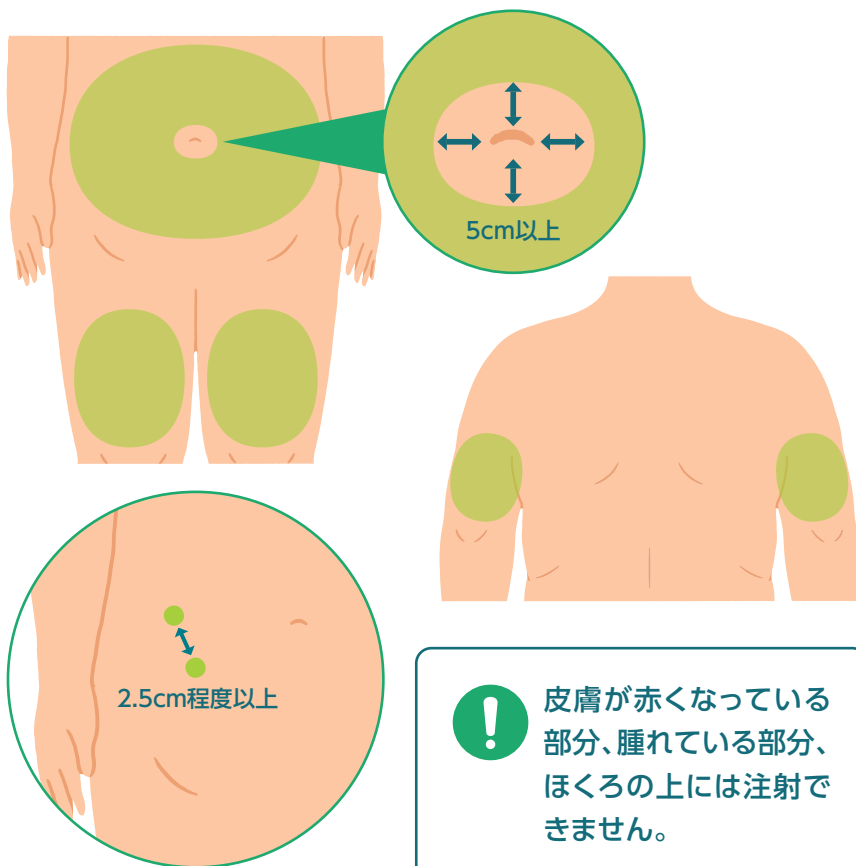


ステップ 6 注射位置を決め、消毒する

- 1 お腹、太ももの前面中央、二の腕の裏側*のなかから注射位置を決めます。

お腹の場合は、おへそから5cm以上離れた位置を選んでください。
また、毎回同じ位置に注射することにならないように、前回の注射位置からは2.5cm程度以上離れた位置を選んでください。

*ご家族の方などが注射する場合のみ



注射の方法

ステップ 6

- 2** 注射位置を、消毒綿の2枚目で円を描くように消毒してください。



- 3** 消毒した部分を触ったり、あおいだり、息を吹きかけたりせずに、約10秒間待ち、皮膚を乾かしてください。

ステップ 7 注射位置の皮膚をつまむ

- 1 利き手と反対側の手の親指とほかの指で、注射位置の皮膚を約5cmごく軽くつまみます。

皮膚を軽くつまむことで、針を深く刺しすぎず、皮下に注射しやすくなります。



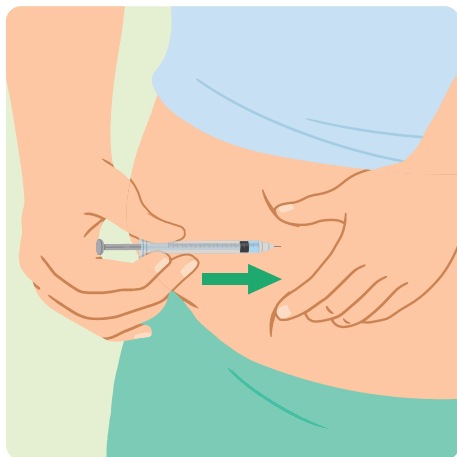
薬は皮膚のすぐ下にある組織(皮下)に直接注射してください。

静脈や筋肉に注射してはいけません。

注射の方法

ステップ 8 薬液を注入する

- 1 利き手で注射器の筒部分をイラストのように持ちます。

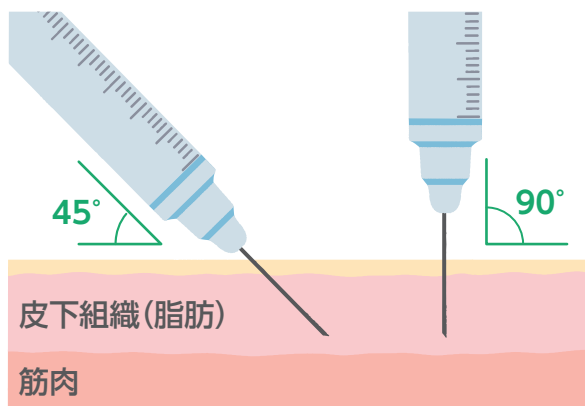


- 2 皮膚に針を刺してさらに少し深くまで進め、皮膚の中にしっかりと針が入っていることを確認*します。

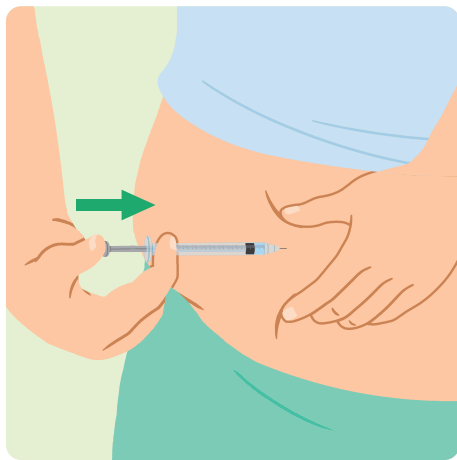
*針を刺す深さについては、医師や医療スタッフの指示に従ってください。



皮膚に対して
45～90°の角
度で針を刺し
てください。



- 3** プランジャーをゆっくり押し
て薬液を注入します。



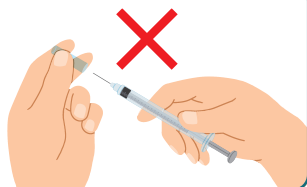
- 4** 最後まで押し終わった後、ゆっくりと5秒数えてください。

- 5** 軽くつまんでいた皮膚を放し、続いてゆっくりと針を抜きます。
このようにすると、薬液が皮膚から漏れにくくなります。

- 6** 注射位置を消毒綿で数秒間軽く押さえます。止血していることを確認してください。その際、注射位置を揉まないようにしてください。出血がある場合は絆創膏を貼り、その上から5分間程度しっかり圧迫します。



針は針保護キャップを付けず、
そのまま廃棄容器に捨てて
ください。



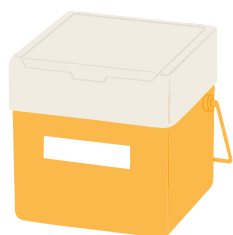
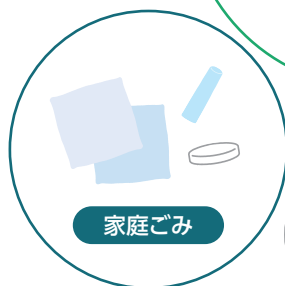
注射後の片付け・廃棄の方法

- 注射器は適切な廃棄容器に捨ててください。
注射器は決して再利用しないでください。

- 注射器以外の消毒綿や針保護キャップ、バイアルのプラスチックキャップは家庭ごみで捨ててください。

- 使用済みのバイアルは、医療機関または薬局へ持参するなど、廃棄方法は医療スタッフにご確認ください。

- 使用済みの注射器を入れた廃棄容器は危険物のため、医療機関または薬局で処分します。
いっぱいになったら、医療機関または薬局にお持ちください。



注射後の記録

- 毎日、「治療日誌」に注射した時間や位置、副作用などを記録しましょう。

副作用について

主な副作用は治療開始から1～2カ月で発生する傾向があるため、特に注意してください

次のような症状が現れる可能性があります。

少しでも体調や気分がよくないと感じる場合や、心配なことがある場合は、医師にご相談ください。

場合によっては、薬の量を調整することがあります。

● しきそかじょう しきそちんちゃく色素過剰(色素沈着)

：皮膚や髪の毛の色が濃くなる、爪や歯茎、くちびるが黒くなる、ほくろが濃くなる、新たにほくろができる など

➡ イムシブリーの治療開始前や治療期間中に、医師が皮膚の状態を確認します。必要に応じて皮膚科にて診察を受けることもあります。

● 持続勃起症

：陰茎および陰核の持続性勃起

➡ 4時間以上持続するときはすぐに医療機関を受診してください。
治療が遅れると、将来的な勃起の低下につながる可能性があります。

● おうと吐き気、嘔吐

● 注射部位反応

：注射した部分の赤み、かゆみ、むくみ、痛み、腫れ など

● 頭痛

● 疲労

など

イムシブリー注射についてのQ&A



イムシブリーは、毎日同じ時間に注射したほうがよいですか？



毎日同じ時間に注射することを推奨しています。注射を忘れにくくなり、習慣にしやすいと考えられているためです。

また、注射するタイミングに決まりはありませんが、朝の注射をおすすめしています。

薬の効果により日中の空腹感が軽減されるためです。



注射する量を間違えてしまったら、どうしたらよいですか？



●多く注射した場合

吐き気や嘔吐、その他の副作用があらわれる可能性があります。

少しでも体調や気分がよくないと感じる場合や、心配なことがある場合は、医師にご相談ください。

●少なく注射した場合

追加の注射はせず、次の日から本来の注射する量で1日1回の注射を続けてください。



注射器の針を誤って指に刺してしまった場合は、
どうしたらよいですか？



●注射前の場合

その注射器は使用せずに廃棄容器に捨ててください。
水で指を洗った後、新しい注射器で注射してください。

●注射後の場合

通常どおり注射器を捨てた後、指を洗ってください。
傷口を確認し、異常がある場合は受診してください。

針保護キャップを付け直すときに、指に針を刺してしまう
ことがあるため、一度針保護キャップを外した後は付け
直さないでください。

注射後は、キャップを付けず、そのまま廃棄容器に捨てて
ください。



MEMO

A series of horizontal dotted lines for writing.

MEMO

A series of horizontal dotted lines for writing.

サポートツール

▶イムシブリー 自己注射の解説動画

自己注射の方法を、手元の拡大画像とともに、さらにわかりやすく紹介しています。



▶イムシブリー解説冊子

イムシブリーの作用、注意点、気になることなどについて解説した冊子です。治療を安心して続けていただくための参考にしてください。



▶イムシブリー解説サイト【イムシブリーケア】

イムシブリーについての説明サイトです。
本冊子に掲載されている内容に加え、自己注射の方法や
便利なサポートツールのご紹介などを行っています。



▶治療におけるサポートプログラム

イムシブリーによる治療を受ける患者さんと
そのご家族の方に向けて、
サポートプログラムの「イムシブリー・ワンケア」をご提供しています。



医療機関名